

演劇鑑賞会 弘前市民劇場創立五十周年記念事業

八月六日広島にて、矢須子

黒い雨

原作 井伏鱒二「黒い雨」(新潮社刊)より

とき

平成27年8月31日(月)

午後6時開場 / 6時30分開演

ところ

弘前文化センター 大ホール

前売チケット / 一般 3,000円

(当日 3,500円)

大学生 1,000円

(当日 1,500円)

中学・高校生 100名無料招待

観覧をご希望の方は

弘前市民劇場事務局までお申し込みください

申込 ☎ 0172-36-5402

前売チケット取扱店 / 弘前市民劇場事務局・紀伊國屋弘前店・中三弘前店・さくら野弘前店・ヒロロ・弘前大学生協・FMごしよがわら



出演 奈良岡朋子

上演台本 笹部博司

演出 丹野郁弓

照明 古宮俊昭

効果 岩田直行

製作 劇団民藝

企画 ぴあ とびあ 新潟市民芸術文化会館

主催：演劇鑑賞会 弘前市民劇場

後援：青森県、弘前市、弘前市教育委員会、東奥日報社、陸奥新報社、RAB青森放送、ATV青森テレビ、ABA青森朝日放送、エフエム青森、FMアップルウェーブ、FMジャイゴウェーブ、FMごしよがわら

「平成27年度弘前市市民参加型まちづくり1%システム」対象事業

お問合せ・お申込み / 演劇鑑賞会 弘前市民劇場事務局 弘前市本町69 TEL 0172-36-5402



劇団民藝公演

リレーとびあ青森
物語の女たちシリーズ

八月六日広島にて、矢須子

黒い雨

原作 井伏鱒二「黒い雨」(新潮社刊)より

出演 奈良岡朋子

上演台本 笹部博司

演出 丹野郁弓

井伏鱒二 いぶせ・ますじ

「黒い雨」はささやかな日常生活を送っている
閑間重松・シゲ子夫妻と姪、矢須子の家族の物語です。
矢須子を何とか嫁がせようとする夫婦ですが、
次第に悲しい事実が明らかになります。
未曾有の惨事に巻き込まれながらも、
平常心を失わずに暮らしを営む人びと。
淡々と進む物語の背景には、
市井の人びとをおそった原爆の悲劇が厳然とあります。
戦後70年のいま。「黒い雨」をもたらした戦争とは何なのか――
奈良岡朋子が語る一人舞台を通して
一緒に考える機会となれば幸いです。

奈良岡朋子 ならおか・ともこ



橋本哲

みなさまへ

一昨年初めての挑戦となった一人舞台「黒い雨」。

たくさんの方の反響をいただき、

私の小さなライフワークとして

再び皆様にお届けいたします。

やさしさを与え、

愛することをあきらめないで生きつづける。

井伏鱒二さんが描く「黒い雨」の世界を

お客様と私だけの劇空間で

共有できるのを楽しみにしています。

奈良岡朋子

幡欣治作『根岸庵律女』に出演予定。

とき

平成27年8月31日(月)

午後6時開場 / 6時30分開演

ところ

弘前文化センター 大ホール

前売チケット / 一般 3,000円

(当日3,500円)

大学生 1,000円

(当日1,500円)

中学・高校生100名無料招待

観覧をご希望の方は

弘前市民劇場事務局までお申し込みください

申込 ☎ 0172-36-5402

前売チケット取扱店 /

弘前市民劇場事務局・紀伊國屋弘前店・さくら野弘前店
中三弘前店・ヒロロ・弘前大学生協・FMごしよがわら

演劇鑑賞会 弘前市民劇場「入会のご案内」

弘前市民劇場は、良質な舞台芸術をリーズナブルに鑑賞するため会員を募集しています。

- 大人 (入会金 2,000円・月会費 2,600円)
- 大学生 (入会金 0円・月会費 1,000円)
- 中高生 (入会金 0円・月会費 500円)

<上演予定作品・会場：弘前市民会館>

7/28 (火) 俳優座劇場「音楽劇 わが町」
土井裕子をはじめ魅力ある俳優が、何気ない暮らしに散りばめられた掛替えの無いものを描きます。

10/4 (日) 人形劇団ブーク「怪談 牡丹燈籠」
舞台美術の第一人者朝倉操の装置で挑む人形劇。

12/10 (木) 劇団民藝「真夜中の太陽」
日色ともゑが主演する他、弘前市出身の神敏将(じんとしゆき)が出演。地元出身俳優を応援しよう!

2/12 (金) 幹の会+リリック「王女メディア」
円熟味を増した平幹二郎が女役(王女メディア)に挑む。女と母性の間に切り裂かれる心理的葛藤を深く演じています。

4/15 (金) 劇団前進座「夢千代日記」
早坂暁原作の有名作品。山あいの温泉町に、置屋の女将夢千代と心を寄せ合って生きる女達。